

(炭素換算)

$$80 \text{ 億トン} - 48 \text{ 億トン} = 32 \text{ 億トン}$$

世界のCO₂排出量 自然界が吸収できるCO₂量 増えていくCO₂量

小学校体験学習 (2014. 11)

11月は、2校から小学生を招いて環境体験学習をおこなった。各学校の生徒数が大きく違うために、それぞれに適したプログラムを組み、楽しみながら学習してもらえる工夫を凝らした。竹を使った細工は、鋸やヤスリを使うが、慣れなくても注意深く作業に関わり、緊張の中にも喜びがみられた。やまももを使った染色は、絞りをいれて、偶然にできあがった文様に驚いていた。紙芝居を使って、私たちの自然環境を守る大切さを伝えた。

観察会では、公園内の植物や鳥などの生態を説明し、自然と共に存する里山の様子を、自分たちの目で確かめながら学習してもらった。



定例会 (2014. 12. 06)

寒さが厳しい日であったが、竹林の整備にあたると冷え切った身体も温まってきた。



光が差し込む健全な竹林にするために、密集した沢山の竹を切りだした。

15時過ぎには、雹が振り出したので作業を中止することとなった。

=琉球かずら=

公園内には無いが、自然の色がクリスマスシーズンに合っているので、家より持参。



リース作りの話題になり、定例会の作業とは違った楽しい時間となった。

定例会 (2015. 01. 10)

年初めの定例会では、今後の活動についてのミーティングを行った。定例会に加えて、任意で行う作業日を作るか、イベントの内容など、各自が持つ特技を活かして、一般に還元できる内容を話し合った。また、小学生対象の体験学習の内容を一層充実するように、新しいアイデアを出し合った。



小学生体験学習の準備 (2015. 01)

竹の工作に新しいアイデアを取り入れることになり、任意の参加者があつまり、計画を練り、試作を行って準備を進めた。

定例会 (2015. 02. 7)

小学生体験学習の準備の続き

午前中は、工作に使う竹の切り出し、午後からは、参加する小学生に適した、材料を提供するための下準備にかかった。作業工程が多く、計画以上に時間がかかってしまった。



全ての竹を同じ長さに切り、ナタで割るためのマークを一つひとつ丁寧に入れていった。また、花瓶敷の試作品も作成した。

竹を火で炙り、油分を表面に浮かびださせることで、青竹のツヤをひきだし、また変色を防ぐようにした。



小学校体験学習 (2015. 2. 12)

今年度、最後の体験学習だった。春の頃から随分と成長した子どもさん達と共に楽しい体験学習となつた。天気が不確かなため、アリーナの1室を借りて工作を行つた。花瓶敷は、新しい試みだったのでもう少し練習をしておくべきだったと反省。

観察では野鳥がいつもより多く、子供たちへ身近にいる鳥たちを紹介できた。(シロハラ、メジロ、エナガ、コゲラ、ヒヨドリ、カラス、セキレイ等) 前回2回の体験学習で学んだ事を憶えてくれていたのは、とても喜ばしい。先生からも準備に対して感謝のお言葉をいただき、充実した一年の締めくくりとなった。



ミャンマー旅行記

関空からハノイ経由でヤンゴン、バガン、マンダレー経由(飛行機の環状線)ヤンゴンへと1週間の楽しい旅だった。

空港近くは建設ラッシュ、道路も各地で改修中、

日本の昭和30年代に似る状況と

の事。混雑している中心部でも信

号は余り無く、人やバイクの交通

ルールは余り無いようだ。散乱す

るプラスチックバッグのゴミはど

こから来たんだろう?寺院は裸足

で観光、観光地での物売りには、

現地ガイドさんのアドバイスに従い“No”を決め

込む。母親に傘をさしかけお参りする若者もあり、

日本では見かけない様に目を留める。人々の信仰

心は篤く、輝く仏塔の金箔は寄進によるもの。日本もこういう時代があったのかな~? (R. K.)



— 今後の予定 —

定例会 每月第1土曜日 (9:30案内所集合)

2015年

3月 7日 (土) 定例会

4月 4日 (木) "

4月 29日 (土) 花フェスタ

活動内容は、神戸総合運動公園のホームページをご覧下さい
(ボランティアコーナー、イベントコーナー)

—子供たちに持続可能な社会を託したい—里山俱楽部緑台

私たちの活動主旨に賛同、ご協力頂ける方の参加をお待ちしています。連絡は下記へお願いします。

TEL (078) 793-6002 (総合運動公園案内所)